

総説 (一般)

イネ形態形成の遺伝学的基盤と育種におけるその変化

田中若奈¹⁾・山内卓樹²⁾・津田勝利^{3,4)}

(¹⁾ 広島大学大学院統合生命科学研究科, ²⁾ 名古屋大学生物機能開発利用研究センター, ³⁾ 国立遺伝学研究所, ⁴⁾ 総合研究大学院大学)

Breeding Science 73: 3–45 (2023)



コムギ連における花序形態は機能に従う

佐久間俊¹⁾・コッポル ラヴィ²⁾

(¹⁾ 鳥取大学農学部, ²⁾ ライプニッツ植物遺伝作物学研究所)

Breeding Science 73: 46–56 (2023)



ソルガムの品種改良に有用な形態形質の遺伝的制御

高梨秀樹

(東京大学大学院農学生命科学研究科)

Breeding Science 73: 57–69 (2023)



根粒器官形成：マメ科植物に特徴的な側生器官形成

壽崎拓哉

(筑波大学生命環境系)

Breeding Science 73: 70–75 (2023)



トマトの葉の形態の多様性は育種への新たな知見を提供する

中山北斗^{1,2)}・市橋泰範³⁾・木村成介^{4,5)}

(¹⁾ 東京大学大学院理学系研究科, ²⁾ University of California, Davis, USA, ³⁾ 理化学研究所バイオリソース研究センター, ⁴⁾ 京都産業大学生命科学部, ⁵⁾ 京都産業大学植物科学研究センター)

Breeding Science 73: 76–85 (2023)

原著論文

発生制御遺伝子によるイネの穂構造のデザイン

縣 歩美^{1,2)}・芦荻基行³⁾・佐藤 豊²⁾・北野英己³⁾・保浦徳昇³⁾

(¹⁾ 名古屋大学大学院生命農学研究科, ²⁾ 国立遺伝学研究所, ³⁾ 名古屋大学生物機能開発利用研究センター)

Breeding Science 73: 86–94 (2023)